



データシート・キャプチャ・分類

振り分けるためだけに、すべての手紙 を読んでいませんか？ 書類の種類は、誰かが見る前に決まっ ています。

AI-DMS の分類は、処理のたびに書類の種類、言語、方向を検出し、保存パスを提案します。Premium からは送り主と受取人も提案します。独自の種類は、学習なしで言葉で説明できます。

概要

書類ごとに一つの種類を、システムのカatalogまたは独自の種類から選びます。各種類には保存期間、法的根拠、認識後に開始される既定の IDP Agent を設定できます。

01・概要

受け取るものはすべて読む必要がある。 その種類は、すでに決まっている。

請求書、銀行明細、税務通知、契約書。書類が正しいフォルダーに入るか、次の工程に進む前に、誰かが読んで仕分けなければなりません。分類は Basic 段階から、AI-DMS の処理のたびにそれを行います。

入力

Workspaceが AI-DMS で処理するすべての書類

BASIC からの結果

書類の種類、言語と地域、方向、要約、キーワード、保存パス

PREMIUM から

さらに送り主、受取人、金額。独自の種類の視覚的な特徴

利用方法

Web アプリ、MCP ツール `po_documents_document_types_*` と `po_document_analysis_analysis_dms`



書類ごとに一つの種類

AI は、システムのカタログと独自の種類から、一致する種類を選びます。十分な確度で一致するものがない場合、書類は「その他 / 未分類」に残ります。

独自の種類、学習は不要

名前と、AI への指示（英語）を入力します。典型的な特徴と、似た種類との見分け方を書いてください。その指示が分類に使われます。

保存パスと名前

AI-DMS は、すべての書類について保存パスと内容がわかる名前を提案します。書類一覧では、保存パスがフィルターとして機能します。

種類ごとの保存期間

種類ごとに、保存年数、管轄、GoBD などの法的根拠を設定できます。書類が改ざん防止としてロックされると、その種類の期間が適用されます。

既定の IDP Agent

AI-DMS が種類を認識すると、Workspaceの処理に加えて、そこで選ばれた IDP Agent が自動的にキューに入ります。

ワークフローのトリガー

Workflow Agent の開始イベントでは、書類の種類がフィルターとして働くため、たとえば請求書ごとに承認が始まります。

02・仕組み

説明し、処理し、 確認して、引き渡す。

分類は、AI-DMS の処理のたびに実行されます。種類のカatalogを管理し、書類を処理させ、必要に応じて修正します。

1

種類のカatalogを開く

Document AI › ドキュメントタイプ で、システムの種類と独自の種類を、管轄、保存期間、IDP Agent とともに確認できます。

2

独自の種類を作成

新しい文書タイプ で、表示名と AIへの指示 を入力し、保持期間 タブで期間と法的根拠を設定して、必要に応じてデフォルトの IDP Agent を選択します。

3

書類を処理

Workspaceは、AI-DMS Basic から新しいアップロードを分類します。既存の書類は、選択してアクション › エージェントとワークフロー › AI-DMS を選び、段階を設定してください。

4

結果を確認

書類には種類とデータ項目が表示されます。種類は プロパティ タブで修正するか、MCP の po_documents_update_index で修正できます。

技術データ

機能	詳細
段階	Basic：種類、言語、方向、保存パス・Premium：さらに送り主、受取人、金額
Catalog	管轄ごとと全体のシステムの種類、および独自の種類
独自の種類	表示名、説明、AI への指示（英語）、保存期間、IDP Agent
保存期間	年数、管轄、法的根拠。モード Compliance（WORM）または None
代替の種類	その他 / 未分類
MCP ツール	po_documents_document_types_list/_create/_update/_delete、po_document_analysis_analysis_dms
料金	利用量に応じて、段階によって異なります

03・実際の活用

書類の種類が 作業を振り分ける。

税理事務所の領収書

税理事務所向けのガイドのテストランでは、AI-DMS が請求書、レシート / 伝票、銀行明細、税務決定を認識しました。銀行明細の種類に IDP Agent を設定すると、取引が続いて読み取られます。

保守報告書の独自の種類

サービス会社は「保守報告書」の種類を作成し、英語で説明します。技術者の報告書で、日付、設備、署名を含みます。次の書類から認識されます。

請求書を承認へ

Workflow Agent は、その開始イベントの種類「請求書」でフィルターします。認識されたすべての請求書が承認を開始し、契約書や手紙はそのまま通過します。

よくある質問

分類を学習させる必要がありますか？

いいえ。システムの種類は最初の書類から認識されます。独自の種類では、名前と、AI への短い指示（英語）を入力します。サンプル書類は必要ありません。

書類に誤った種類が付いていた場合はどうしますか？

書類のプロパティタブ、または MCP で種類を変更できます。後で書類を改ざん防止としてロックすると、新しい種類の期間と法的根拠が適用されます。

種類以外に何が認識されますか？

Basic からは、言語と地域、方向、要約、キーワード、日付、名前の提案、保存パスが認識されます。Premium では送り主、受取人、金額が加わり、分類は視覚的な特徴も評価します。

書類の種類と IDP Agent はどのように関係しますか？

種類に既定の IDP Agent を設定します。AI-DMS がその種類を認識すると、Workspace の処理に加えて、エージェントが自動的にキューに入ります。重複するエージェントは統合されます。

はじめに

次に届く書類を分類させましょう。

app.paperoffice.ai でアカウントを作成し、AI-DMS Basic 以上のWorkspaceを選んで書類をアップロードしてください。独自の種類は **Document AI > ドキュメントタイプ** で作成します。

paperoffice.ai/ja/ai-classification-bunsho-bunrui-jido-kategori



モジュールの詳細

paperoffice.ai/ja/ai-classification-bunsho-bunrui-jido-kategori

料金

paperoffice.ai/en/pricing

お問い合わせ

paperoffice.ai/ja/otoiawase